

第3次潮来市障害者計画 事業・取組みの進捗状況について

I 計画全体

①事業評価結果

○計画全体では、全体で106の取組があり、85の取組が「順調」「概ね順調」と80.2%の取組が「順調」「概ね順調」という結果となりました。

○「停滞」や「実績・成果なし」は合わせて7つの取組でした。

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	9	76	14	3	4
令和3年度	12	71	16	2	5

■令和4年度「順調」と評価された主な取組

「基本目標1 お互いを尊重する社会づくり」

・市職員を対象とした人権教育研修会

「基本目標2 自分らしく生きる社会づくり」

・子育て世代包括支援センター

・「こころの健康相談」

「基本目標3 自分らしさを広げる社会づくり」

・巡回指導員による認定こども園等への訪問

「基本目標4 安心・安全に暮らせる地域づくり」

道路舗装新設に伴う段差の解消

など

②今後の方向性

○今後の方向性では、全体の84.9%の90の取組が「A:拡大・強化」「B:このまま継続」となっています。

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数122	2	88	16	0	0

■「拡大・強化」と評価された主な取組

「基本目標2 自分らしく生きる社会づくり」

・子育て世代包括支援センター

「基本目標3 自分らしさを広げる社会づくり」

・巡回支援専門員による幼児教室

③全体のまとめ

■順調に施策が実施されている

○計画された106の取組みのうち、85の取組が「順調」「概ね順調」と評価され、「停滞」「実績・成果なし」は7つの7取組となりました。

○「停滞」「実績・成果なし」の取組みは、ほぼ新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものでした。

○潮来市障害者計画は、全体として着実に施策が展開しているものとして評価できます。

ア 主な成果

■相談支援体制が充実した

○障がい者やサービス提供事業者等からの相談に応じる窓口として、障害者基幹相談支援センターが設置されるなど、相談支援体制の整備が進みました。

■地域生活の支援が充実してきた。

○障がい者の地域生活を支援する地域生活支援拠点が整備されるとともに、グループホームが設置されるなど福祉サービスの提供体制が充実してきました。

■地域連携が進んだ

○地域自立支援協議会に「部会」が設置されるなど、関係機関の連携が図られています。地域情報の共有やサービス提供に関する連携体制の強化などが期待されます。

イ 主な課題

■課題 1 障がいへの理解の促進

○障がい者差別解消法の啓発や障がいに関する情報提供に努めています。今後も多様な媒体を活用した各種啓発活動が重要となっています。

■課題 2 相談体制のより一層の充実

○計画相談支援員の確保、障がいの多種多様化する相談に対応できる人材の確保などが課題となっています。特に、計画相談支援員の不足が指摘されており、相談員の確保が課題となっています。また、成年後見制度など権利擁護に関する相談体制の整備も重要となっています。

■課題 3 障がい者の生きがいづくりの支援

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、文化活動やスポーツ活動などは困難な状況でした。今後は、障がい者のスポーツ・文化・芸術活動への参加は重要な課題となります。当事者や団体と連携した取組が大切となります。

■課題 4 災害時の対応力の強化

○近年、風水害の頻発や首都直下型地震の懸念などにより、災害時の対策が強化されています。

○障がい者など避難行動要支援者への支援強化や福祉避難所の確保、避難体制の整備などが課題となっています。

Ⅱ 施策別状況

【基本目標1】お互いを尊重する社会づくり

1 障がいに対する理解の促進

(1) 差別の解消・啓発活動の推進（全取組数7）

○障がい者や障がいに対する理解を深めるため、各種の広報紙やリーフレットを活用した啓発活動などを推進しています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	1	5	1	0	0
令和3年度	0	6	1	0	0

◆主な実績

●人権相談員による相談(市民課)

内容	年度	件数等
特設人権相談件数(津知公民館)	令和4年度	6件・5回
	令和3年度	13件・5回
常設人権相談件数(法務局開設)	令和4年度	80件
	令和3年度	141件

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数7	0	6	1	0	0

③総評

○順調に進捗しており、今後も継続して啓発活動につとめていきます。

○評価「5」については、市職員を対象とした人権問題に関する研修の充実があげられます。

○評価「3」については、新型コロナウイルス感染症による道の駅を活用した啓発活動となっており、今後の方向性は「C」となっています。

(2) 地域福祉活動の推進（全取組数7）

○学校教育の体験や交流活動、社会福祉協議会のボランティアセンター活動などを進め、地域福祉への理解促進やボランティア活動の充実を図っています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	6	1	0	0
令和3年度	0	6	1	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数7	0	6	1	0	0

③総評

○学校での取組やボランティアセンターの活動など、評価「4」の取組が多くなりました。評価「3」は「災害時の見守り体制」となっています。

○「災害時の見守り体制」については、協力体制の構築、避難行動要支援者個別避難行動計画などの周知が課題となっています。

2 情報提供・コミュニケーションの充実

(1) 手話言語、情報提供の推進（全取組数3）

○手話の普及や聴覚障がい者への情報提供体制の整備などを進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	2	1	0	0
令和3年度	0	2	1	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数3	0	3	0	0	0

③総評

○評価「4」は、広域での手話講座の開催や市の窓口での音声拡張器の設置などとなっています。

○今後は、障がい者のニーズの把握や情報提供手段の検討などが課題となっています。

(2) 制度・サービス内容の周知（全取組数4）

- 「障がい者福祉のしおり」や、広報紙や市ホームページ(音声読み上げ機能)、市公式ツイッター、フェイスブックなどを活用して、福祉制度や福祉事業所各種のイベントなどの提供に努めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	0	0	0
令和3年度	0	4	0	0	0

◆主な実績

●福祉情報の掲載回数(秘書課)	年度	件数等
広報いたこ	令和4年度	7回
広報いたこ情報版	令和4年度	7回
HP関係(各種給付金や手話講習会などのお知らせ)	令和4年度	10回以上

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数4	0	3	0	0	0

※不明1

③総評

- 取組すべてが評価「4」となりました。

- 引き続き、障がい者が使いやすい多様な媒体を活用した情報提供が必要となっています。

【基本目標2】自分らしく生きる社会づくり

1 相談支援体制の強化

(1) 多様な相談に応じる体制の整備（全取組数6）

○障がい者が身近なところで相談が受けられる環境づくりを進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	2	0	0
令和3年度	0	4	2	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数6	0	3	3	0	0

③総評

○評価「4」は「基幹相談支援センターの設置」や多様な障がいに対応する「相談支援事業所などとの連携体制づくり」などとなりました。

○評価「3」は、「計画相談支援事業所の確保」などとなっています。

○「C」の方向性は、「計画相談支援事業所の確保」や「市役所窓口の改修」などとなりました。

○今後は、市役所相談スペースの確保や計画相談支援員の確保、障がいの多様化に対応できる人材の確保などが課題となっています。

(2) 権利擁護の推進（全取組数2）

○市ホームページや広報紙を活用した障がい者差別解消法の啓発、日常生活自立支援事業や成年後見制度の周知を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	2	0	0
令和3年度	0	0	2	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数2	0	2	0	0	0

③総評

○評価はいずれも「3」、方向性は「C」でした。

○権利擁護の相談窓口の相談体制の強化や、関係機関と連携した権利擁護に関する周知などが課題となっています。

(2) 虐待の防止（全取組数2）

○「潮来市障害者虐待防止センター」の周知や、虐待防止に向けた関係機関との連携を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	1	1	0	0
令和3年度	0	2	0	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数2	0	2	0	0	0

③総評

○障害者虐待防止法などの周知や障がい者に対する理解の普及に努めるとともに、関係機関との情報交換や調整を強化し、虐待の未然防止を図っていく必要があります。

2 生活支援の充実

(1) 在宅サービスの充実（全取組数3）

○障がい者の多様なニーズに対応できる「地域生活拠点施設」の設置や、障害者手帳などの適切な交付を行ってしています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	0	0
令和3年度	0	3	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
身体障害者手帳交付件数	令和4年度	54件
	令和3年度	68件
療育手帳交付件数	令和4年度	15件
	令和3年度	4件
精神保健福祉手帳交付件数	令和4年度	36件
	令和3年度	28件

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数2	0	3	0	0	0

③総評

- 評価「4」には、令和3年に設置した「地域生活支援拠点」が含まれています。
- 緊急短期入所や体験入所、専門的な相談の場所等として活用が期待されます。

(2) 日中活動の場の充実（全取組数1）

- 障がい者の日中活動の場として、地域活動支援センターを設置しています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	1	0	0
令和3年度	0	0	1	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
地域活動支援センターⅠ型 「メイプル」	令和4年度	登録者:2人、相談件数:86件
地域活動支援センターⅡ型 「潮来市身心障害者福祉ワークス」	令和4年度	登録者:10人、利用延べ人数 2,180人
地域活動支援センターⅡ型 「れいめい」	令和4年度	登録者:10人、訓練延べ人数 1,610人、生活相談件数:820件

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数1	0	1	0	0	0

③総評

- 評価「3」、方向性は「B」でした。地域との交流を進めるなど、制度の周知や対象者のニーズ把握などが課題となっています。

(3) 住まいの確保（全取組数3）

○障がい者の多様な住まいを確保するため、県営住宅の活用やグループホームの整備、適切な施設入所などに努めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	1	2	0	0
令和3年度	0	1	2	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数3	0	2	1	0	0

③総評

○評価「4」は、「グループホームの整備促進」です。令和4年に1施設、市内に新設されています。

○「グループホームの整備促進」については、方向性は「C」であり、今後の利用者のニーズやサービス提供体制などを検討していく必要があります。

(4) 経済的な支援（全取組数6）

○障がい者等の暮らしの安定を図るため、障害基礎年金や医療福祉制度(マル福)生活、難病患者福祉見舞金制度などの周知を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	6	0	0	0
令和3年度	0	6	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
障害基礎年金請求件数	令和4年度	11件
	令和3年度	15件
重度心身障害者医療費助成	令和4年度	256人
	令和3年度	258人
65歳以上重度心身障者医療費助成	令和4年度	363人
	令和3年度	370人
特別障害者手当	令和4年度	21人
	令和3年度	22人

内容	年度	件数等
障害児福祉手当	令和4年度	15人
	令和3年度	17人
在宅心身障害児福祉手当	令和4年度	26人
	令和3年度	32人
自立支援医療	令和4年度	新規:60人 再認定328人
	令和3年度	新規:21人 再認定107人
難病患者福祉見舞金	令和4年度	153人
	令和3年度	145人

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数6	0	6	0	0	0

③総評

○6つの取組みすべてが「4」の評価、方向性も「B」になっています。制度の普及啓発と適切な給付等に努めていくこととなります。

3 保健・医療体制の充実

(1) 保健事業の充実（全取組数6）

○障がい者の健康増進・維持を図るため、障がいに配慮した健診体制の整備を進めるとともに、障がいの早期発見・早期療育、精神保健の充実などを進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	2	4	0	0	0
令和3年度	2	4	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
妊婦面接件数	令和4年度	166件
	令和3年度	140件
「こころの健康相談」相談件数	令和4年度	6件(本人:4件 その他2件)
	令和3年度	9件(本人:8件 その他1件)
ゲートキーパー養成研修会	令和4年度	市職員向け2回実施、33人参加
	令和3年度	市職員向け2回実施、39人参加
巡回支援専門員による対象児童数	令和4年度	対象児童 372人実施回数119回

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数6	1	5	0	0	0

③総評

○評価「5」は「子育て世代包括支援センターにおける妊娠からの切れ目のない支援」と「精神科の医師によるこころの健康相談」となっています。

○今後の方向性の「A」は「子育て世代包括支援センターにおける妊娠からの切れ目のない支援」となっており、こども家庭センターの設置に伴い、体制整備を進めることとなります。

(2) 医療との連携（全取組数3）

○障がい者の医療受診が適切にできるように、医療費の助成や医療機関との情報交換を行っています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	0	0
令和3年度	0	3	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
更生医療費給付(自立支援医療費)	令和4年度	18人
	令和3年度	15人
育成医療費給付(自立支援医療費)	令和4年度	3人
	令和3年度	7人

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数3	0	3	0	0	0

③総評

○すべての取組みが評価「4」、方向性「B」となっています。今後は障がい者の医療受診環境の改善に向け関係機関と連携して行くこととなります。

【基本目標3】自分らしさを広げる社会づくり

1 就労機会の拡大

(1) 雇用・就労機会の促進（全取組数4）

○ハローワーク常陸鹿嶋や商工会、就労支援事業所などと連携し、障がい者や生活困窮者の雇用・就労の促進を行っています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	0	0	0
令和3年度	0	4	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
就労支援事業所数	令和4年度	潮来市内5 鹿嶋市内4 神栖市内2 行方市内5
	令和3年度	潮来市内4 鹿嶋市内4 神栖市内2 行方市内5
生活困窮者自立支援就労相談者等	令和4年度	就労支援相談員1人配置 相談者21人(うち難病者1人) 就労者5人(うち難病者1人)
	令和3年度	相談者3人(うち難病者1人) 就労者1人

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数4	0	4	0	0	0

③総評

○すべての取組みが評価「4」、方向性「B」となっています。地域自立支援協議会では「就労部会」を設置し、事業者や関係機関の連携強化に努めています。

○生活困窮者を含め、就労機会の拡大を図っていくこととなります。

(2) 工賃向上の推進（全取組数3）

○障がい者の就労支援事業所の工賃向上を図るため、潮来市障害者優先調達推進法に基づく調達方針による発注や、道の駅を活用した製品販売などを行っています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	0	0
令和3年度	1	2	0	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数3	0	3	0	0	0

③総評

○すべての取組みが、評価「4」、方向性「B」となっています。

○障がい者の工賃水準は依然として低い水準にあり、今後も工賃向上に向けた取組みが重要です。

2 保育・療育、教育環境の充実

(1) 障がいのある児童の保育・療育（全取組数7）

○早期からの療育を図るため、幼児健診から幼児教室、認定こども園などへの巡回支援専門員の派遣などを行っています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	5	0	2	0	0
令和3年度	5	0	2	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
幼児健診の心理面要観察者	令和4年度	1歳6ヶ月健診:46人 3歳児健診:61人
	令和3年度	1歳6ヶ月健診:31人 3歳児健診:66人(内、既医療2人)
相談支援ファイル配布数	令和4年度	2ヶ月児訪問:125人
	令和3年度	2ヶ月児訪問:113人

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数7	0	5	2	0	0

③総括

- 評価「5」は、「育児相談や健診」、「相談支援ファイルの配布」、「巡回支援専門員」、「巡回支援専門員による幼児教室」、「障がい児保育や障がい児の放課後学童クラブの受け入れ」となっています。
- 今後の方向性「C」は「相談支援ファイルの配布」と「児童発達支援センターの設置」となっています。
- 「相談支援ファイルの配布」については、より一層の活用に向けての検討、「児童発達支援センターの設置」については、民間事業所を含めた関係機関との調整が必要となります。

(2) 学校教育の充実（全取組数7）

- 支援の必要な児童生徒を対象とした特別支援教育支援員の配置や特別支援学校との交流や巡回相談の活用、や「教育支援センター」における不登校児等の支援など、特別な支援を必要とする児童生徒のへのきめ細かな支援を図っています。

①事業評価結果

【評価】	5：順調	4：概ね順調	3：停滞気味	2：停滞	1：実績・成果なし
令和4年度	0	7	0	0	0
令和3年度	0	7	0	0	0

◆主な実績

内容	年度	件数等
特別支援教育指導員	令和4年度	15人
	令和3年度	15人
教職員研修等参加者(市主催)	令和4年度	若手教員研修参加者総数:38人 生活指導主事研修参加者 総数:18人
	令和3年度	若手教員研修参加者総数:44人 生活指導主事研修参加者 総数:18人
就学相談件数	令和4年度	302件
	令和3年度	304件
教育支援センター	令和4年度	相談件数:211件 通級者数:11人
	令和3年度	相談件数:204件 在籍者数:6人 通級者:1人

②今後の方向性

【方向性】	A：拡大・強化	B：このまま継続	C：改善見直し	D縮小	E：廃止
全取組数7	0	7	0	0	0

③総括

○すべての取組みが評価「4」、方向性「B」となっています。

○今後も、児童生徒や保護者に寄り添いながら、関係機関と連携した支援を図る必要があります。

3 社会参加の促進

(1) 社会参加・交流機会の拡大（全取組数5）

○障がい者の社会参加を促進するため、施設と地域の交流促進や障がい者が参加しやすい公民館事業の提供などを検討しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止なる事業がありました。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	1	0	0
令和3年度	1	2	2	0	0

○評価「3」は、「施設と地域の交流促進」となりました。新型コロナウイルス感染症拡大によるものです。

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数5	0	3	2	0	0

③総評

○評価「3」は、「施設と地域の交流促進」となりました。新型コロナウイルス感染症拡大によるものです。

○公民館の「障がい者が参加しやすい公民館事業の提供」は方向性「C」となっています。市民文化祭への出展団体などを検討することになります。

○今後は、障がい者の文化・芸術活動への参加は重要な課題となります。当事者や団体と連携した取組が大切となります。

(2) スポーツ・文化活動の充実（全取組数5）

○障がい者のスポーツ活動や文化活動を支援するため、障がい者スポーツ大会や市民プールの活用、。図書館への大活字本の配置などを進めています。新型コロナウイルス感染症拡大により、中止なる事業がありました。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	2	0
令和3年度	1	3	0	1	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数5	1	2	2	0	0

③総評

○評価「2」が、「障がい者スポーツ大会」と「講演会などへの手話通訳者派遣」となりました。

○「市民プール」の活用は方向性「C」となっています。今後の施設の修繕などで障がいのある人も安心して利用できるよう整備することになります。

【基本目標4】安心・安全に暮らせる地域づくり

1 生活環境の整備

(1) 福祉のまちづくりの推進（全取組数7）

○障がい者をふくめて、すべての市民が暮らしやすいまちづくりを目指して、外出支援や道路環境整備、施設のバリアフリー化、公共交通体系の整備を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	1	4	1	0	1
令和3年度	2	3	1	0	1

◆主な実績

内容	年度	件数等
ヘルプマーク・ヘルプカード配布数	令和4年度	30人
	令和3年度	13人
外出支援サービス利用者	令和4年度	実人数33人 延べ88件
	令和3年度	実人数65人 延べ71件
高齢者タクシー利用料金助成事業	令和4年度	申請者801人 利用件数15,150件
	令和3年度	申請者756人 利用件数11,844件
高齢者運転免許返納促進事業	令和4年度	申請者58人 利用枚数1,649枚
	令和3年度	申請者72人 利用枚数1,649枚
舗装新設工事による段差解消	令和4年度	2路線 208m
	令和3年度	5路線 569m
広域路線バス	令和4年度	2路線
	令和3年度	2路線

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数7	0	5	2	0	0

③総評

○評価「1」は「点字ブロックの設置」となっています。この間、実績がありませんでした。

○方向性「C」は、「点字ブロックの設置」と「広域バスの運行」となりました。「広域バスの運行」については、今後もニーズの把握や効率的な運行に努めていくこととなります。

○「外出支援サービス」については、使用する車両などの充実が課題となっています。

(2) 行政サービスにおける配慮（全取組数3）

○選挙等における障害者への配慮や「障がい者差別解消法」に関する市職員対応への相談などを進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	2	0	1	0
令和3年度	0	2	0	1	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数3	0	2	1	0	0

③総評

○評価「2」は「障害者差別解消法」に関する市職員対応への相談ですが、実績として「差別的扱いを受けた」という相談はありませんでした。

○今後も、「障害者差別解消法」の周知徹底や、障がい者に配慮した行政サービスの提供に努めていく必要があります。

2 安心・安全な暮らしの確保

(1) 防災対策の充実（全取組数9）

○障がい者は災害時に、避難行動や避難所生活に大きな不安があります。避難行動要支援者の把握や民生児童委員などと連携した行動、福祉施設の災害時マニュアルの啓発、区長会と連携した防災訓練など、日頃からの防災体制の整備を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	6	0	0	3
令和3年度	0	4	1	0	4

◆主な実績

内容	年度	件数等
避難行動要支援者	令和4年度	対象者977人 うち同意者421人

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数9	0	8	1	0	0

③総評

- 評価「1」は、「災害ボランティア研修」、「避難行動要支援者への対応マニュアル」、「福祉避難所の確保」となりました。「災害ボランティア研修」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催できせんでした。「福祉避難所の確保」については、公設の避難所の確保に課題があります。「避難行動要支援者への対応マニュアル」は、関係機関との連携等に課題があります。
- 「避難行動要支援者の把握」については、事業に対する理解促進を図るとともに、個別計画の作成に向けて地域との協力体制の整備などが課題となっています。

(2) 交通安全・防犯対策の充実（全取組数3）

- 交通安全キャンペーンや消費者被害の啓発を進めています。

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	0	0
令和3年度	0	3	0	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数9	0	3	0	0	0

③総評

- 街頭での交通安全・防犯・消費者被害防止キャンペーンやリーフレットを使った啓発活動を進めています。
- 今後も継続して、啓発活動に努めていく必要があります。